

報道関係各位

**環境対応型最軽量収縮フィルム「GEOPLAS® HCX1 23μm」採用開始！
-収縮フィルムで環境負荷低減を推進-**

Gunze株式会社（本社：大阪市北区、社長：佐口 敏康、以下「Gunze」）は、国内最軽量ハイブリッド収縮フィルム「GEOPLAS® HCX1 23μm（ジオプラス® エイチシーエックスワン）」を発売し、この度、ダイドードリンコ株式会社（本社：大阪市北区、社長：中島 孝徳、以下「ダイドードリンコ」）の販売するペットボトル飲料で採用されました。

Gunzeは、国内最軽量収縮フィルムの普及を進め、リサイクル原料比率を高めることにより、プラスチック使用量の削減と資源の有効活用による循環型社会の実現を目指してまいります。

GEOPLAS® HCX1 タイプの特長

- (1)重量...国内最軽量収縮フィルム（従来の最軽量フィルムより約10%軽量化）。 当社調べ
- (2)収縮性...最大収縮率が70%あり、異形ボトルにも対応可能。収縮仕上がり良好。
- (3)ミシン目適性...ミシン目適性が良く、ラベル剥離が容易（ミシン目に沿って剥離が可能）。
- (4)リサイクル原料を使用...印刷会社で発生した印刷端材を約1%使用し、かつ、マスマランス方式によるケミカルリサイクル原料を4%以上使用。

リサイクルについて

第1段階 社内PIR

Gunzeでは、収縮フィルムなどを製造する守山工場ですべてのプラスチック廃材を出さないゼロ・エミッションを実現する工場へと転換しており、2024年度中には、守山工場ゴミゼロを達成する見通しです。

第2段階 社外PIR

今回提供を開始しました「GEOPLAS® HCX1 タイプ」には、グループ会社のGunze包装システム株式会社（本社：滋賀県守山市、社長：花岡 裕史、以下「Gunze包装システム」）で発生した印刷端材を回収し、フィルムに含有させております。

今後この取組みをコンバーターやペットボトル飲料等の製造工場に広げていく考えです。

第3段階 PCR

最終的には、市場から消費後のラベルを回収し、再原料としてフィルムの製造を行い、資源循環型社会に貢献してまいります。

第1段階 社内PIR

ポスト・インダストリアル・リサイクル
社内の廃プラの再利用



第2段階 社外PIR

ポスト・インダストリアル・リサイクル
印刷会社の廃プラの再利用



第3段階 PCR

ポスト・コンシューマー・リサイクル
消費者から回収した廃プラの再利用

ポストインダストリアルリサイクル（PIR）とは

- ・市場に出る前の製品製造工程で発生した材料をリサイクル・再利用すること。

ポストコンシューマーリサイクル（PCR）とは

- ・消費者が使用した製品を回収して再生資源化すること。

HCX1 タイプ採用商品

ダイドードリンコの「贅沢香茶アイスティー」7月製造分より採用、「葉の茶」への展開も計画されています。



贅沢香茶アイスティー



葉の茶

今後の展開

リサイクル率を順次向上させ、2030年にはリサイクル率100%の実現を目指します。また、厚みのある製品ラインナップも拡充し、食品・トイレタリー市場への展開を進めてまいります。

ダイドードリンコ株式会社について

日本を代表する飲料メーカーで、「こころとからだに、おいしいものを。」というブランドメッセージのもと、コーヒーや炭酸飲料を中心に幅広い商品を展開しています。1975年の創業以来、高品質な飲料を提供し続け、特に「ダイドーブренд」などのブランドで親しまれています。また、持続可能な事業運営にも力を入れ、環境に配慮した自動販売機（LOVE the EARTH ベンダー）の展開や商品の開発、およびリサイクルの推進にも積極的に取り組んでいます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係の方からのお問い合わせ

Gunze株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報IR室（大阪）TEL:06-6348-1314（担当/野中）
（東京）TEL:03-4485-0001（担当/前川）

お客さまからのお問い合わせ プラスチックカンパニー TEL: 06-7731-5800（営業統括部）

Gunzeプラスチックカンパニーホームページ <https://www.gunze.co.jp/plastic>